

2023年度

事業報告書

自 2023年4月 1日

至 2024年3月31日

2023 年度 事業報告書

1. 事業環境

2023 年度は、3 年半に渡り大きな影響を受けた新型コロナウイルス感染症が 5 月の連休明けから通常の生活に戻りました。経済活動も徐々に回復してきましたが、国際問題が各所で勃発する継続する中、円安・物価高など、依然として先行きが不透明な状況が続いています。

2. 事業概要

このような事業環境の中、2023 年度のメンテナンス業界は、原材料の価格高騰や資材不足、人件費の上昇などがありました。石油・化学プラントの定修工事に加え、設備の老朽化に伴う更新投資や、脱炭素に向けた環境対応投資などの案件があり、各会員会社の抱える工事量としては堅調に推移しております。

工業会としては、理事会や各種委員会活動は、Web 会議を併用し通常回数で行いました。講演会や工場見学 4 年振りに開催することが出来ました。

フランチ締結技能講習制度については活発な活動を行い、認定講師および講習受講者数は大幅に伸び、様々な広報活動や設備オーナーへの認知度アップにより、会員数の増加にも寄与しています。

経済産業省主催の「定期修理環境整備連絡会」に 10 月と 3 月の 2 回出席し、官庁および設備オーナーと、メンテナンス業界の抱える諸問題と定修への影響について意見交換を行いました。

3. 会員数の現況

2023 年度の会員数の推移は次表のとおりです。

| 種別 | 項目 2023 年 4 月 1 日現在 | 2023 年度 会員数の推移 | | | 2024 年 3 月 31 日現在 |
|-------|---------------------------|----------------|-----|------|----------------------|
| | | 増 加 | 減 少 | 増減差引 | |
| 正 会 員 | 109 | 11 | -3 | 8 | 117 |
| 賛助会員 | 27 | 3 | -1 | 2 | 29 |

【入会】①東和工業 ②東亜外業 ③ジャスタイト ④信越エンジニアリング
⑤中建プラント ⑥エフティーエンジ ⑦トルクマックス ⑧東京エネシス
⑨新田管工株式会社 ⑩常盤工業
(賛助) ①京都機械工具 ②ENEOS ③愛知産業

【退会】①JFE エンジニアリング ②オーバルアシスタンス ③池田機工

【会員種別変更 (賛助会員→正会員)】西日本プラント工業

4. 主要行事について

4-1. 通常総会、セミナー、表彰式、懇親会

日時：2023年6月8日 14時00分～18時30分

会場：如水会館 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番1号

(1) 通常総会（オリオン）

出席：正会員112名中101名出席（出席45名、委任状56名）

議事：第1号議案 2021年度事業報告書・収支決算書について

第2号議案 2022年度事業計画書・収支予算書について

第3号議案 役員の改選について

（議案は原案どおり可決）

(2) セミナー（スターホール）

参加：123名

題目：「今の自分を超越る」

講師：菊間 千乃 氏（弁護士/元フジテレビアナウンサー）

(3) 表彰式（スターホール）

参加：120名

第7回日本メンテナンス工業会表彰

受賞：マイスター賞4件、技術賞2件、奨励・普及賞4件

(4) 懇親会（スターホール）

参加：139名

4-2. 第8回日本メンテナンス工業会表彰

申請件数：マイスター賞5件、技術賞1件、奨励・普及賞2件

受賞：メンテナンスマイスター賞 5件

日鉄テックスエンジ株式会社 渡邊 雄二 殿

山九重機工株式会社 油井 勝之 殿

JFEプラントエンジ株式会社 松浦 健治 殿

日鉄テックスエンジ株式会社 池田 裕之 殿

株式会社高田工業所 寺地 美木男 殿

メンテナンス技術賞 1件

株式会社中部プラントサービス 神保 吉秀 様

メンテナンス奨励・普及賞 2件

株式会社サンキュウリサーチアンドクリエイト 中上 裕尚 殿

JFEプラントエンジ株式会社 桃木 誠 殿

4-3. 工場見学会

日時：2023年10月27日（金） 12時30分～16時00分

会場：京都機械工具(株)（京都府久世郡久御山町佐山新開地128）

参加：32名

4-4. 賀詞交歓会

日時：2024年1月18日 11時30分～12時50分
会場：如水会館 スターホール 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番1号
参加：71社 204名（145社中）
来賓：経済産業省 製造産業局 産業機械課
課長 安田 篤 様（ご挨拶）
係長 室岡 雅樹 様
アクトアドバイザーズ税理士法人
代表社員(顧問税理士) 杵淵 祥志 様

5. 理事会の概要

5-1. 年初計画

第1回 2023年5月18日(木)
第2回 2023年6月8日(木)
第3回 2023年9月7日(木)
第4回 2023年12月7日(木)
第5回 2024年3月7日(木)

5-2. 実績

第1回 2023年5月18日 如水会館とWeb併用（全議案→可決）
議事：第1号議案 役員の一部交代案について
第2号議案 正会員入会について
第3号議案 2023年度 通常総会について
第4号議案 2022年度事業報告書案及び収支決算書案について
第5号議案 2023年度事業計画書案及び収支予算書案について
第6号議案 役員改選について
第7号議案 展示会出展について

第2回 2023年6月8日 如水会館（全議案→可決）
議事：第1号議案 役員改選(案)について
第2号議案 役員役割分担(案)について

第3回 2023年9月7日 如水会館とWeb併用（全議案→可決）
議事：第1号議案 役員の一部交代案について
議事：第2号議案 正会員入会について
議事：第3号議案 京都機械工具 工場見学会 について

第4回 2023年12月7日 如水会館とWeb併用（全議案→可決）
議事：第1号議案 正会員入会について
第2号議案 賀詞交歓会について

第5回 2024年3月7日 如水会館とWeb併用（全議案→可決）
議事：第1号議案 正会員入会について
第2号議案 2023年度工業会表彰について

6. 委員会活動の概要

6-1. 総務委員会

委員会は、会場と Web 併用で 5 回開催し、理事会の事前審議を行いました。
主な事前審議及び委員会活動は以下の通りです。

1. 通常総会、賀詞交歓会の会場開催
2. 工業会表彰
3. 新規加入会社：正会員(10 社)賛助会員(3 社) (退会正 3 社, 賛助 1 社)
4. メンテナンスショー(東京)、INCHEM(東京)出展ブース運営協力
5. 経済産業省主催「定期修理環境整備連絡会」への参画 (2 回)
6. 定修会議への参画 (1 回)

ポケットブック=機械編=改訂検討着手

6-2. 企画推進委員会

2023 年度は、会場と Web 併用で委員会(WG 含む)を開催し、主な活動内容は以下の通りです。

1. フランジ締結技能講習制度の推進
 - (1) 認定講師審査会：17 回 認定講師:70 名認定(累計:217 名 33 社)
 - (2) 技能講習：受講者 4,115 名 (累計：9,462 名)
 - (3) 認定講師連絡会開催：6 回
 - (4) スキルアップ研修：1 回
 - (5) メンテナンスショー(東京)、INCHEM(東京)実演コーナー運営
 - (6) 設備オーナー様への PR 活動：18 回
 - (7) 本制度賛同入会会社：12 社 (累計：24 社)
2. 人材不足対応として、西日本工業大学、新居浜高専、大分県立工科短大に対しメンテナンス講座の講師を務めました。また企業説明会は、西工大 10 社、大分工科短大 3 社が参加しリクルート活動を行いました。
3. 経産省スマート保安官民協議会の参画 (高圧ガス部会、電力安全部会)
4. 厚労省(日本環境衛生センター)「工作物の石綿事前調査者講習テキスト」検討会への参画 (3 回)

6-3. 調査統計委員会

2023 年度事業計画に基づき実績報告を致します。

工業会会員企業概要 1 年調査を実施しました。

及び、人材不足、長時間労働、働き方改革についても調査を実施しました。

- ・調査アンケートは、2023 年 10 月末を締切りで調査し、内容を分析、精査しました。
- ・人材不足、長時間労働、働き方改革、今回 2024 年問題についてもアンケート項目に追加し、併せて調査しました。結果、トータルで 83 社 899 件の回答を得られました。
- ・まとめた結果は会報 111 号に掲載しました。

6-4. 広報活動委員会

2023年度は、委員会を5回開催と展示会（東京）2回のサポートを実施。

1. 会報内容の充実

- ・第110号（2023年9月発行）から工業会表彰、受賞者紹介ページのフォーマットを共通にし、見やすいものに改定しました。
- ・「新規会員のご紹介」ページのデザインを一新しました。
- ・フランチ締結技能講習制度を2021年度から継続連載。

2. ホームページのリニューアル

ホームページの全面リニューアル、スマホ・タブレット対応を2023年7月に公開しました。（利便性が向上）

3. プラントメンテナンスショーに出展する会員企業の取材など。

- ・2023年度は、プラントメンテナンスショー東京（7月）とINCHEM TOKYO2023（9月）に出展しました。
INCHEM TOKYO2023（9月）は、初出展でフランチ締結技能講習制度のセミナーが開催されました。（会報に掲載）

6-5. 教育研修委員会

コロナ禍の影響で一時中止となった研修会などの企画また、学生へのPR活動など以下を実施しました。

1. 研修会の企画運営

(1) 講演会（通常総会時）6月8日実施

講演者 菊間 千乃氏（弁護士/元アナウンサー）

題目「今の自分を変える」 参加者 123名

(2) 工場見学 10月27日実施

京都機械工具株式会社 久御山工場見学 参加者 32名

2. 大学・高専講座に対する支援

(1) 西日本工業大学講座

講義会社：日本メンテナンス工業会、高田工業所、中部プラントサービス、富士電機

(2) 新居浜高専講座

講義会社：日本メンテナンス工業会、アズビル、横河ソリューションサービス

(3) 新たな提携

大分県立工科短期大学で初めてメンテナンス概論講座を実施しました。

6-6. 法令・規格委員会

プラントメンテナンス業の課題に関連する動向調査として、

1. 各省庁の調査として、働き方改革、スマート保安に着目して協議会・部会等の活動について調査を行い、働き方改革に関する手引きや相談窓口の設置など官公庁が取り組みを進めている内容を掴むことが出来ました。
2. 会員会社を対象に、長時間労働改善に繋がるICTツールに関するアンケートを実施し、その結果については今後取りまとめを行い、会員企業への展開を次年度実施する予定です。
3. 長時間労働に関して、経済産業省が主管で行っている定期修理環境整備連絡会におけるユーザー会社とメンテナンス会社との意見交換の動向を注視しているところです。

働き方改革についてはまだ課題が多くあり、これら諸課題に関する事項を中心に次年度も活動したいと考えています。

6-7. 評価提案委員会

人材の確保・育成へ向けた検討を次の2点について行いました。

1. 工業会表彰制度の制度定着化

- ①申請数は、8件6社、昨年は10件9社で、昨年と比べると申請会社は3社減少し、申請件数は2件減少となりました。
- ②審査結果は、マイスター賞は5件、技術賞は1件、普及奨励賞は2件で、合計で8件が受賞となりました。
- ③申請内容に不備があった場合、内容の確認・修正指導等を考慮した全体工程とし、申請元への追加資料などの申請内容指導の期間を設け評価を実施しました。
- ④工業会表彰の課題について検討の結果、「評価方法の定量化」および「IT・DXに関する領域に対するマイスター応募への対応」は、現状、大きな問題なく審査しており、従来通りの評価方法を継続することにしました。また、「応募企業の偏り改善」については、新しい表彰カテゴリーの設置や応募を促す広報活動等の検討を継続します。

2. 「人材確保のためのPR方法」の具体策として、プラントメンテナンス業界ガイドブック活用の推進

- ①新たに業界紹介シートと6職種（メンテナンス監督、製缶、足場鳶、機械加工、計装保全、非破壊検査）の紹介シート拡充 および 現行カバーホルダーと現行職種紹介シート5職種（仕上げ・溶接・配管・重量鳶・電気保全）の改訂を行いました。
- ②新ガイドブックは、2023年6月に1,000部を発行し、会員企業へ配布および通常総会時やメンテナンス・レジリエンスの会場で紹介しました。

工業会の新しいHPに新たに「プラントメンテナンス業ってどんな仕事？（業界紹介と職種紹介シート）」を掲載しました。また、会員ページからはガイドブックをダウンロードできるようにしました。

6-8. 技術研究委員会

メンテナンス技術の情報収集についてアンケート結果を踏まえ委員会開催毎に「施工技術、施工機械」、「現場管理」、「工具・道具」、「DX（IT/VR）」についての情報に収集しホームページのメンテナンス技術紹介集に掲載しました。一般財団法人日本環境衛生センターより工作物石綿事前調査者講習テキストへの協力依頼に対し、製油所に常駐する鉄工・保温施工会社などから要望・意見などをヒアリングする機会を設けテキスト作の支援を行いました。

以上